

## 施工方法 パームハンド Nextの施工

### 取付け可能壁

パームハンドNextを取付ける前に、取付けの壁の材質・厚さを確認してください。壁の材質・仕上げなどがわからない場合は、ユニットバスメーカーにお問い合わせください。

### 必要工具

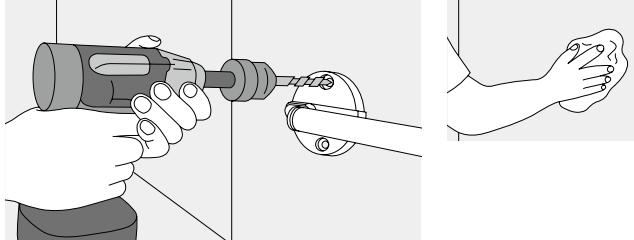
ポンチ、電動ドライバー、ドリルキリ(Φ7.7mm、Φ4.0mm)、ハンマー、コーリング剤、プラスドライバー  
※長さ調整する場合:  
高速カッター、ヤスリ、カッターナイフ  
※L型のグリップ位置を調整する場合:  
ドリルキリ(Φ3.0mm)

### 下穴の切削に必要

ナチ 鉄工用ドリル  
→P.784



### 1 仮止め・下穴あけ



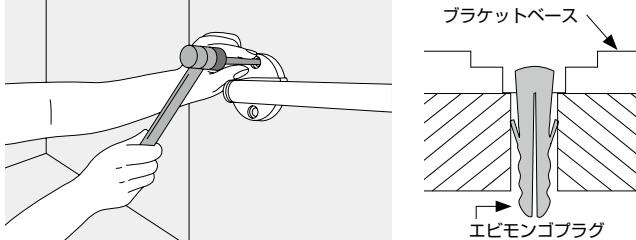
まず、やわらかい布で壁を清掃し、手すりのブラケットベースにある剥離紙を剥がし、両面テープで仮固定します。

ブラケットベースのねじ穴中央部にねじを取り付けられるようにポンチでねじ穴用下穴の位置を決め、Φ4mmのキリで下穴をあけてください。壁裏面に補強があれば③の項目に進んでください。補強がなければΦ7.7mmのキリで再度下穴をあけてください。

#### 施工上のご注意

- 室温の低いときは、両面テープと壁をドライヤーなどで温めてください。
- 必ず3点すべてに下穴をあけてください。  
(ジョイントベース[L型ブラケット]は4点)
- 下穴についたバリなどは、きれいに取り除いてください。

### 2 アンカーの挿入



あけた下穴にエビモンゴプラグを垂直に差し込み、トラスタッピンねじの頭をハンマーで叩き、エビモンゴプラグをブラケットベースのねじ穴上面まで入れてください。

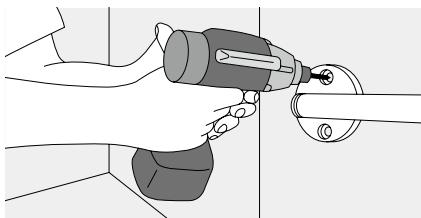
#### 施工上のご注意

- 必ず3点すべてにエビモンゴプラグを差し込んでください。(ジョイントベース[L型ブラケット]は4点)
- 下穴を大きくあけてしまったときや、エビモンゴプラグが空回りしてしまったときは、瞬間接着剤でエビモンゴプラグを壁に固定して十分に乾燥させてから次の項目に進んでください。

最新情報は  
こちらから



### 3 ねじの締め付け

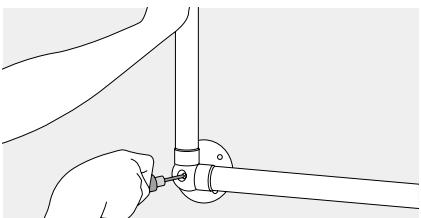


プラスドライバーまたは電動ドライバーでゆっくりとトラスタッピンねじを締め付けてください。

#### 施工上のご注意

- 電動ドライバーを用いる場合は、速度・トルクに注意してください。(トルクは6~7に調整してください。)
- ブラケットベースは3点、L型ブラケットベースは4点を確実に締め付けてください。
- エビモンゴプラグが空回りしたときは上記②の「下穴を大きくあけてしまったとき」の処置をしてください。

### 4 縦手すりの仮止め (L型の場合のみ)



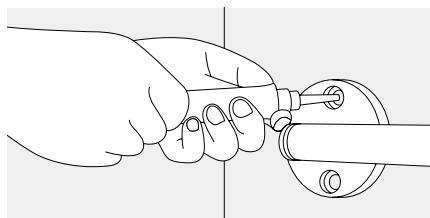
縦手すりの取付位置を決め、ブラケットベースにある剥離紙を剥がし、両面テープがしっかりと付くようにブラケットベースを均等にしっかりと押し付けてください。その後ボルトの本締めを行ってください。

※以後の施工方法については、横手すりと同様に行ってください。

#### 施工上のご注意

- 縦手すりの位置決めは、L型ブラケットベースに縦手すりのジョイント部をピッタリと合わせ、付属ボルトで仮止めしてから行ってください。

### 5 コーキング剤の注入/取付確認

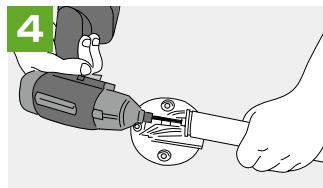
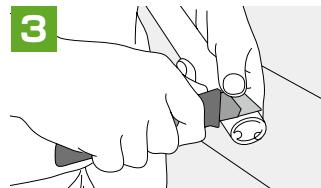
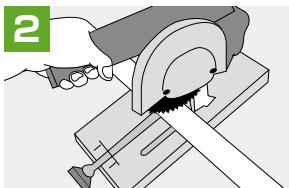
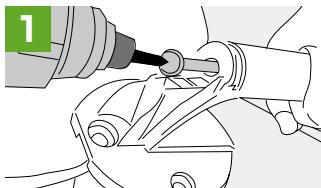


トラスタッピンねじ頭部にコーキング剤を注入してください。

#### 施工上のご注意

- 隙間のできないよう十分に注入してください。
- 取付状態を確認してください。正しい取付けができるればブラケットカバーをはめて完了です。

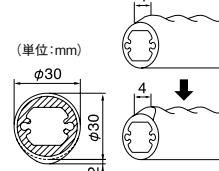
### 長さを調整する場合



インサートボルトをはずし、手すり本体とブラケットベースをはずしてください。さらに、皿タッピンねじをはずし、手すり本体とインサートナットをはずしてください。

高速カッターを用いて、手すり本体を必要な長さに直角に切断してください。切断時に生じたバリは、ヤスリなどを用いてきれいに取り除いてください。

切断した手すり本体の端部のグリップ部分をカッターナイフで削ってください。(手すり本体の両端約4mm)



切断した手すり本体とインサートナットを皿タッピンねじでしっかりと固定してください。次にインサートナットとブラケットベースをインサートボルトでしっかりと固定してください。

#### 施工上のご注意

- L型ブラケットベース、ジョイントははずさないでください。

#### 施工上のご注意

- 発生したバリで、手を切らないように注意してください。また、バリは必ずきれいに取り除いてください。取り残すとブラケットベースがしっかりと固定できない恐れがあります。

#### 施工上のご注意

- このとき、ジョイントをL型ブラケットベースに乗せてがたつきが無いようにしてください。

### バリアフリー

- 金物
- 収納・内装
- 建築資材
- 水まわり
- 防犯
- 耐震・防災
- ペット用品
- 接着・テープ・清掃・補修
- 道具・工具
- お役立ちコナー
- 豆知識
- ご利用方法